

# 柏崎市地球温暖化対策実行計画 令和3（2021）年度報告

## 第1章 区域施策編（市域の温室効果ガス排出量）

### 1 温室効果ガスの削減目標

温室効果ガスの総排出量を、基準年度に比べてR3(2021)年度に12%削減する。

基準年度	H25(2013)年度 926千t-CO <sub>2</sub>
短期目標年度	R3(2021)年度 815千t-CO <sub>2</sub> (▲12%)
中期目標年度	R12(2030)年度 685千t-CO <sub>2</sub> (▲26%)

### 2 排出状況

H27(2015)年度	866千t-CO <sub>2</sub> (▲6.4%)
H28(2016)年度	853千t-CO <sub>2</sub> (▲7.8%)
H29(2017)年度	838千t-CO <sub>2</sub> (▲9.5%)
H30(2018)年度	783千t-CO <sub>2</sub> (▲15.4%)
R元(2019)年度	781千t-CO <sub>2</sub> (▲15.7%)

※国や県が公開しているエネルギー活動量や市の人口等で案分し、算出しているため、実績年度が3年前のものになります。

### 3 結果・講評

R元(2019)年度の排出量は、基準年度から15.7%削減となりました。毎年度排出量は基準年度から減少しており、H30(2018)年度で、短期目標を達成しました。

再生可能エネルギーの導入や省エネ化が進んだことありますが、排出割合の大きい産業部門では、新型コロナウイルスの影響により、経済活動が停滞していたこともあり、削減につながったのではないかと考えられます。

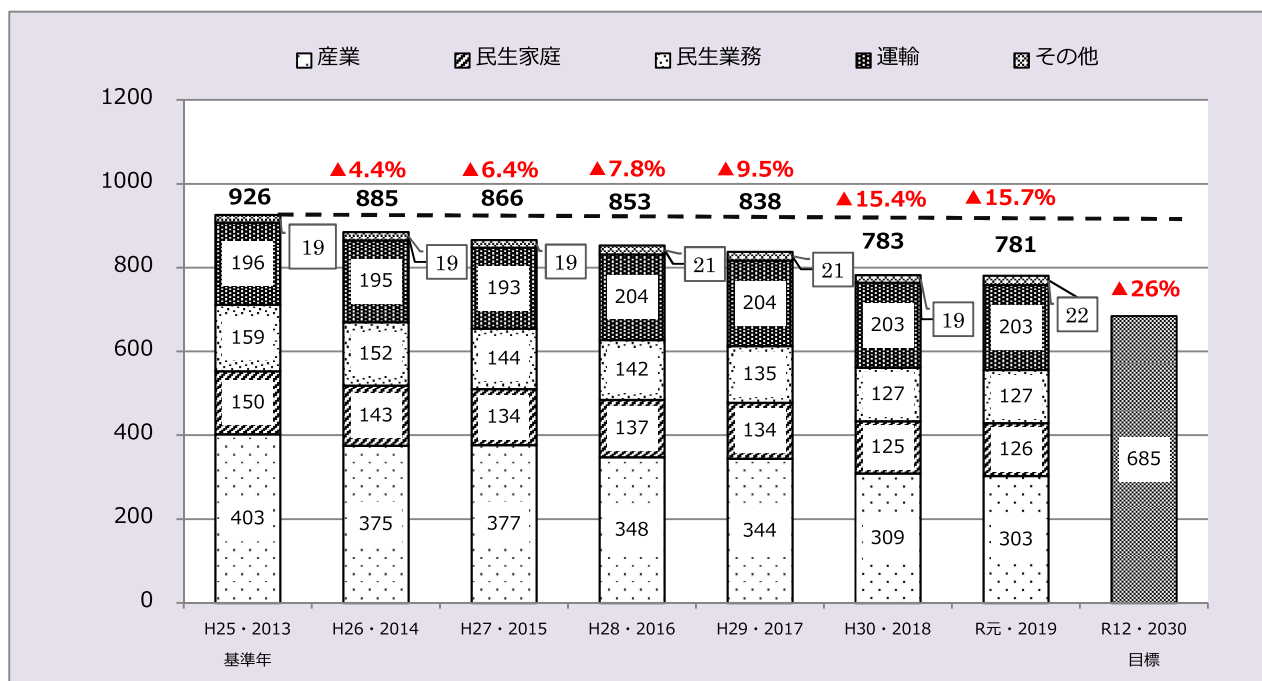


表1 柏崎市の温室効果ガス排出量・目標 (単位：千t-CO<sub>2</sub>)

方針1 再生可能エネルギー・地域資源の有効活用 目標指標

■「柏崎市地域エネルギービジョン」の策定

年度計・累計	基準年度値 H27(2015)年度	目標値 R3(2021)年度	実績 R3(2021)年度	R2(2020)年度	R元(2019)年度
-	未策定	策定	策定済	策定済	策定済

■太陽光発電を設置した公共施設数 ( )内は年度計

年度計・累計	基準年度値 H27(2015)年度	目標値 R3(2021)年度	実績 R3(2021)年度	R2(2020)年度	R元(2019)年度
累計	14 施設	30 施設	29 施設 (1 施設)	28 施設 (3 施設)	25 施設 (2 施設)

■木質ペレットストーブを設置した公共施設数 ( )内は年度計

年度計・累計	基準年度値 H27(2015)年度	目標値 R3(2021)年度	実績 R3(2021)年度	R2(2020)年度	R元(2019)年度
累計	8 施設	15 施設	11 施設 (0 施設)	11 施設 (0 施設)	11 施設 (0 施設)

■造林事業面積 ( )内は年度計

年度計・累計	基準年度値 H27(2015)年度	目標値 R3(2021)年度	実績 R3(2021)年度	R2(2020)年度	R元(2019)年度
累計	162ha	720ha	599.1ha (80.2ha)	518.9ha (63.8ha)	455.1ha (77.9ha)

方針1 R3(2021)年度の取組実績等

施策	取組
再生可能エネルギーの導入・有効活用の推進	公共施設に太陽光発電設備(1 施設)及び地中熱空調設備(1 施設)を導入した。また、講演(2 回、合計約 170 名参加)及び広報かしわざき特集記事を通じ、市エネルギー政策の理解促進を図った。
再生可能エネルギーを活用した電力・熱供給事業(スマートコミュニティ)の推進	-
木質バイオマス資源の利活用事業の推進	補助金により木質ペレット・薪ストーブの購入を支援した。
バイオディーゼル燃料の利活用事業の推進	クリーンセンターの施設内車両に BDF を使用(使用量 1,200ℓ)
その他バイオマス資源・未利用エネルギーの有効活用	自然環境浄化センターにおける消化ガス発電事業
植樹活動や里山保全事業などによる森林保全の推進	柏崎地域森林組合及び農業振興公社の里山保全事業により、造林面積が増加した。 「緑の募金」植樹事業に 9 団体が植樹活動を実施した。

## 方針 2 家庭、事業所及び地域における省エネルギー普及の加速 目標指標

### ■EC02 プロジェクト参加登録事業者数 ( ) 内は新規参加登録者数

年度計・累計	基準年度値 H27(2015)年度	目標値 R3(2021)年度	実績 R3(2021)年度	R2(2020)年度	R元(2019)年度
累計	222 事業者	300 事業者	<b>230 事業者</b> (-2 事業者)	232 事業者 (-1 事業者)	233 事業者 (-5 事業者)

### ■低炭素型創エネ・省エネ機器導入補助金補助件数 ( ) 内は年度計

年度計・累計	基準年度値 H27(2015)年度	目標値 R3(2021)年度	実績 R3(2021)年度	R2(2020)年度	R元(2019)年度
累計	61 件	200 件	<b>185 件</b> (23 件)	162 件 (27 件)	135 件 (22 件)

区分(単位:件)	R3(2021)年度	R2(2020)年度	R元(2019)年度
燃料電池設備	<b>13</b>	12	11
地中熱ヒートポンプ空調・給湯設備	<b>0</b>	0	0
木質バイオマスストーブ	<b>4</b>	4	7
HEMS+蓄電池	<b>2</b>	5	2
太陽光発電設備+HEMS+蓄電池	<b>4</b>	6	2

表 2 炭素型創エネ・省エネ機器導入補助金交付内訳

### ■うちエコ診断受診世帯数 ( ) 内は年度計

年度計・累計	基準年度値 H27(2015)年度	目標値 R3(2021)年度	実績 R3(2021)年度	R2(2020)年度	R元(2019)年度
累計	未実施	50 世帯	<b>13 世帯</b> (0 世帯)	13 世帯 (0 世帯)	13 世帯 (0 世帯)

### ■省エネ診断受診事業所数 ( ) 内は年度計

年度計・累計	基準年度値 H27(2015)年度	目標値 R3(2021)年度	実績 R3(2021)年度	R2(2020)年度	R元(2019)年度
累計	3 事業者	13 事業者	<b>4 事業者</b> (0 事業者)	4 事業者 (0 事業者)	4 事業者 (0 事業者)

### ■エコアクション 21 取得事業所数

年度計・累計	基準年度値 H27(2015)年度	目標値 R3(2021)年度	実績 R3(2021)年度	R2(2020)年度	R元(2019)年度
年度計	23 事業者	30 事業者	<b>14 事業者</b>	14 事業者	18 事業者

### ■LED 街路灯の設置 ( ) 内は年度計

年度計・累計	基準年度値 H27(2015)年度	目標値 R3(2021)年度	実績 R3(2021)年度	R2(2020)年度	R元(2019)年度
累計	3,569 灯	12,523 灯 (市内全灯)	<b>11,386 灯</b> (1,017 灯)	10,369 灯 (1,093 灯)	9,276 灯 (1,375 灯)

方針 2 R3(2021)年度の取組実績等

施策	取組
EC02 プロジェクトの推進	月に 1 回 EC02 通信を発行し対象行動への参加を促し、参加登録事業者は、427,925 ポイント分の活動を実践した。
低炭素型創エネ・省エネ機器、LED 照明の導入促進	23 件の低炭素型機器導入を補助し、地球環境に優しい機器の促進に努めた。
スマートハウス・ビルの普及啓発	補助金により HEMS を含む低炭素型創エネ省エネ機器の導入を支援し、市内建物の省エネ化を進めた。
建築物の省エネ改修、設備導入支援	市営半田住宅 A 号棟の照明を LED 化し、断熱性の高い建具へ改修。また消防本部・署の空調を地中熱利用空調に改修した。
うちエコ診断・省エネ診断受診の推進	毎年度イベントスペースにおいて実施していたが、新型コロナウイルスの影響により中止となったため、実施しなかった。
環境経営システムの導入支援	EC02 プロジェクトにおける対象行動として周知を行うことで、システムの認知向上を行った。

### 方針3 低炭素型交通の推進 目標指標

#### ■電気自動車等普及台数 ( )内は年度計

年度計・累計	基準年度値 H27(2015)年度	目標値 R3(2021)年度	実績 R3(2021)年度	R2(2020)年度	R元(2019)年度
累計	129台	200台	235台 (15台)	220台 (6台)	214台 (20台)

#### ■ノーマイカーウイーク参加事業者数

年度計・累計	基準年度値 H27(2015)年度	目標値 R3(2021)年度	実績 R3(2021)年度	R2(2020)年度	R元(2019)年度
年度計	125事業者	150事業者	29事業者	—	83事業者

※年2回(春・秋)実施していたものの、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から秋の実施は中止とした。

#### ■ノーマイカーウイーク参加者数

年度計・累計	基準年度値 H27(2015)年度	目標値 R3(2021)年度	実績 R3(2021)年度	R2(2020)年度	R元(2019)年度
年度計	5,212人	6,000人	1,180人	—	5,853人

※年2回(春・秋)実施していたものの、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から秋の実施は中止とした。

#### ■エコドライブ講習会実施回数

年度計・累計	基準年度値 H27(2015)年度	目標値 R3(2021)年度	実績 R3(2021)年度	R2(2020)年度	R元(2019)年度
年度計	1回	5回	0回	—	2回

※市の行うイベントで実施していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした。

#### ■エコドライブモニター実施者数

年度計・累計	基準年度値 H27(2015)年度	目標値 R3(2021)年度	実績 R3(2021)年度	R2(2020)年度	R元(2019)年度
年度計	11人	30人	119人	—	350人

※年2回(春・秋)実施していたものの、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から秋の実施は中止とした。

方針 3 R3(2021)年度の取組実績等

施策	取組
電気自動車等導入促進	市内ディーラーを訪問し、電気自動車購入検討者に補助金の周知を行うよう依頼することで、合計 8 台（電気自動車 4 台、PHV4 台）の補助を行った。（昨年度より 6 台増加した）
電気自動車等に関する技術開発・製品開発研究・開発支援	-
公共交通ネットワークの再構築	高柳地域内交通を令和 3(2021)年 8 月から予約型ドアツードア運行（一部定時定路線）に再編した。 これにより、運行の効率化が図られた。また、燃料の使用量削減につながった。
ノーマイカーの普及啓発促進	令和 3(2021)年 5 月 17 日から 23 日まで通勤時にノーマイカーを実践する「ノーマイカーウィーク」を実施し、29 事業者 1,180 人が参加し、7.6 t の CO <sub>2</sub> 削減に寄与した。
エコドライブの普及啓発促進	ノーマイカーウィークと同期間にエコドライブを実践する「エコドライブモニター」を行い、13 事業者 119 人が参加し、0.29 t の CO <sub>2</sub> 削減に寄与した。 燃費だけでなく燃料費の節約になるため、継続的に実施したいという声も多くあり、エコドライブの普及につながった。

## 方針4 地域力発揮のための社会環境整備 目標指標

### ■環境リーダー養成講座受講者数 ( )内は年度計

年度計・累計	基準年度値 H27(2015)年度	目標値 R3(2021)年度	実績 R3(2021)年度	R2(2020)年度	R元(2019)年度
累計	2人	7人	12人(0人)	12人(5人)	7人(1人)

### ■地球温暖化防止活動推進員数

年度計・累計	基準年度値 H27(2015)年度	目標値 R3(2021)年度	実績 R3(2021)年度	R2(2020)年度	R元(2019)年度
年度計	2人	5人	3人	3人	2人

### ■環境教育プログラム実施校数

年度計・累計	基準年度値 H27(2015)年度	目標値 R3(2021)年度	実績 R3(2021)年度	R2(2020)年度	R元(2019)年度
年度計	未実施	32校(全校)	3校	8校	4校

### ■ふれあい講座・エコ教室・エネルギー関連施設見学会の実施回数

年度計・累計	基準年度値 H27(2015)年度	目標値 R3(2021)年度	実績 R3(2021)年度	R2(2020)年度	R元(2019)年度
年度計	5回	10回	8回	3回	4回

### ■ふれあい講座・エコ教室・エネルギー関連施設見学会の受講者数

年度計・累計	基準年度値 H27(2015)年度	目標値 R3(2021)年度	実績 R3(2021)年度	R2(2020)年度	R元(2019)年度
年度計	350人	600人	454人	182人	381人

### 方針4 R3(2021)年度の実績等

施策	内容
環境リーダーの養成	R3(2021)年度は参加者が0人だった。
地球温暖化防止活動推進員の増員	推進員の委嘱期間は2年。R2(2020)年度の実績を継続している。
小中学生向け環境教育プログラムの実施	小学校2校、中学校1校に実施した。 学年に合った地球温暖化に関する授業を実施し、私たちにできることを一人一人が考え、実践するきっかけを作ることができた。
ふれあい講座・エコ教室・エネルギー関連施設見学会の実施	ふれあい講座を1回13人、保育園児に向けたエコ教室を7園441人で実施した。
環境・エネルギー産業事業化への調査・研究・支援	市及び民間事業者合わせて9者による共同出資で、地域エネルギー会社「柏崎あい・あーるエナジー株式会社」を設立したほか、地域エネルギー会社と連携する再生可能エネルギー発電の導入促進施策調査を実施した。
地場産農作物の積極的利用	「食の地産地消フェア」を開催した。 (18店舗参加。料理提供数1,261食、持ち帰り総菜販売数427食) 学校給食での地場産農産物供給量 235,343kg 学校給食での地場産農産物使用割合 46.7%

## 第2章 事務事業編（市の事業からの温室効果ガス排出量）

### 1 温室効果ガスの削減目標

市の業務から発生する温室効果ガス総排出量を、基準年度に比べてR3(2021)年度に19%削減する。

基準年度	H25(2013)年度 36,914 t-CO <sub>2</sub>
短期目標年度	R3(2021)年度 29,900 t-CO <sub>2</sub> (▲19%)
中期目標年度	R12(2030)年度 22,148 t-CO <sub>2</sub> (▲40%)

### 2 実施状況

R元(2019)年度	35,763 t-CO <sub>2</sub> (▲3.1%)
R2(2020)年度	32,987 t-CO <sub>2</sub> (▲10.6%)
R3(2021)年度	30,125 t-CO <sub>2</sub> (▲18.4%)

### 3 結果

R3(2021)年度の温室効果ガス排出量は、基準年度から18.4%削減となりましたが、目標である▲19%にはわずかに及びませんでした。

事務事業編は、市の業務から排出される温室効果ガス排出量が対象であるため、家庭から搬出されるごみの焼却や公共施設の電気の使用における二酸化炭素排出量も対象となります。

市内施設のLED化や再エネ・省エネ設備の導入を定期的に進めています。柏崎市役所庁舎の新設では、太陽光パネルの設置や雨水の利用、断熱性能に優れたガラスを取り入れるなど環境に配慮した設備を導入しています。

今後も施設の環境整備を順調に整えることができる方針及び施策の検討や職員に対して、環境に配慮した行動の呼びかけなど温暖化対策への啓発を継続していきます。

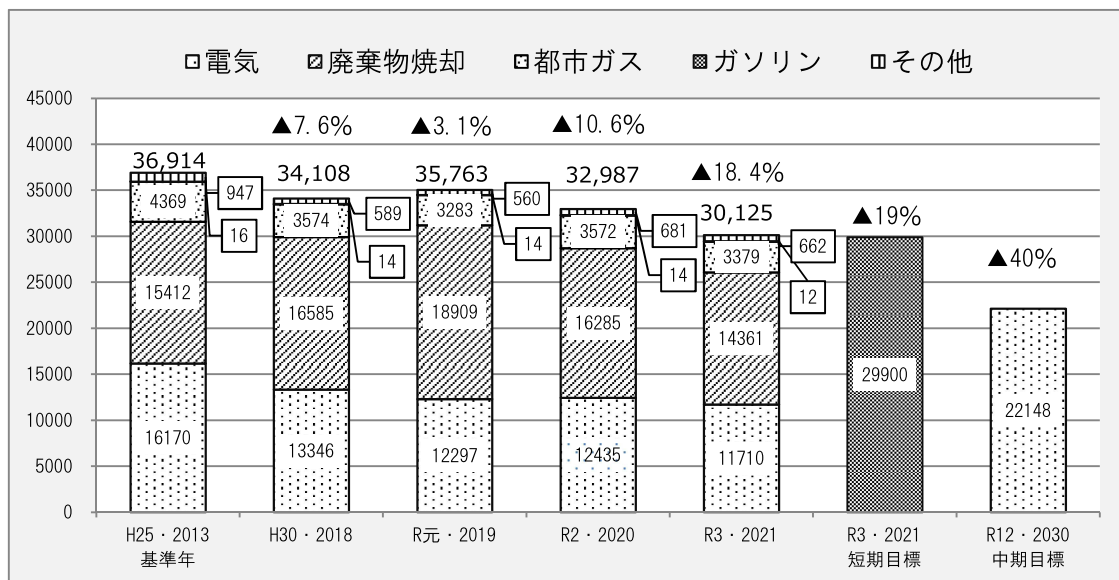


表3 柏崎市の事業からの温室効果ガス排出量・目標 (単位: t-CO<sub>2</sub>)